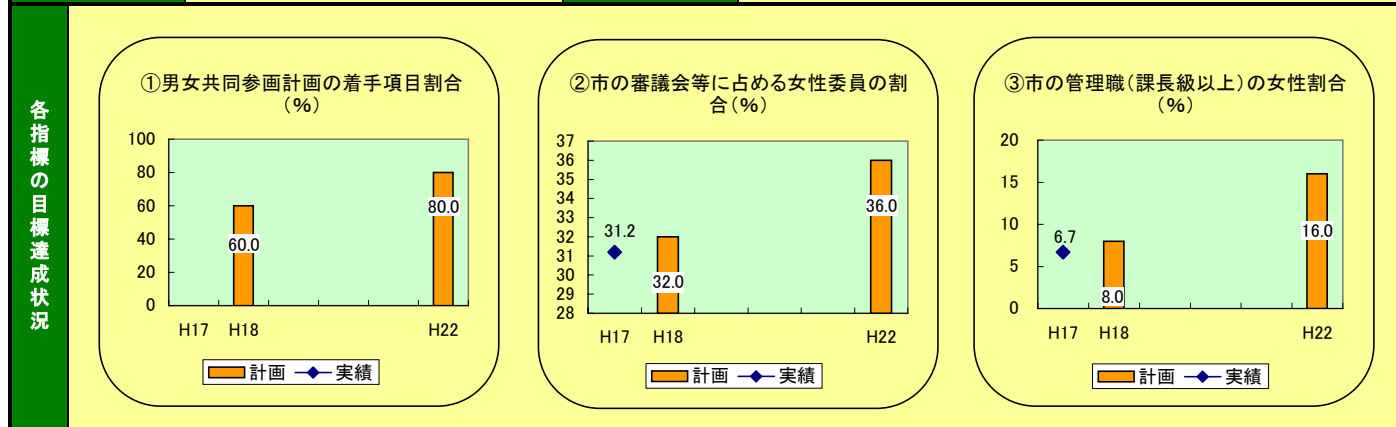


平成18年度 伊丹市行政評価 ～施策評価編～

施策コード	1334	施策名	男女共同参画社会の形成
-------	------	-----	-------------

「これから5年間のまちづくりプラン」における位置付け	視 点		項 目						
	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現		きめ細かな地域福祉の推進						
評価担当部局名	市民部	関連部局	—	事業費合計 (百万円)	H17(決算)	H18(予算)			
					36.0	47.8			
目指すべき目標・状態	男女（一人ひとり）が対等な存在として個性や能力を発揮でき、まちづくりの主役としてつながりつつ共に輝けるような社会をつくる。								
施策を取り巻く環境	▼法律等の制定＝男女共同参画社会基本法の制定（99年）、男女共同参画基本計画（第2次）策定（05年）、市男女共同参画計画策定（06年） ▼市民意識＝今の世の中は全体として「男性優遇」と回答した市民の割合は男性68.1％、女性80.8％（男女平等に関する市民意識調査（04年）） ▼社会情勢＝女性の政治経済への参画が進まない／女性の経済力が高まらない（男女の賃金格差・M字型の女性雇用…）／男性が子育てや介護に参画できない／男女とも仕事と家庭の両立が困難／出生率が低下による少子化及び高齢化／女性への暴力が絶えない——等								
成果を測定する指標 （上げた方が良い指標の場合「↑」、下げた方が良い指標の場合「↓」を指標名の右側に記載。 H22年度計画値は、それ以前に終期を迎えるものはその年度の計画値。）	指標名(単位)		算式等	現状 (H17年度)	H18年度		H22年度	計画達成率 (％)	
					計画値	実績値	計画値		
	①	男女共同参画計画の着手項目割合（％）	↑	男女共同参画計画の着手項目数／男女共同参画計画の総項目数（192項目）	—	60.0	—	80.0	—
	②	市の審議会等に占める女性委員の割合（％）	↑	市政への女性参画の拡大状況	31.2	32.0	—	36.0	—
	③	市の管理職（課長級以上）の女性割合（％）	↑	市役所での女性の登用の拡大状況	6.7	8.0	—	16.0	—
評価結果	19年度から実施します。		評価の判断理由	施策全体の評価については、今年度設定した施策目標・成果指標の達成状況などを実績に基づき総合的に判断して行うこととなります。今年度は、評価実施初年度でそうした実績に基づく評価ができないため、来年度から評価を実施することとしています。					



実施している事務事業と評価結果					
No	事務事業名				評価結果
	活動指標(単位)	H17計画値	H17実績値	H18計画値	
①	フェミニストカウンセリング事業 カウンセリング年間 延べ実施回数(回)				B
		264	263	264	
②	女性団体、組織支援事業 会員数(人)				C
		150	140	150	
③	男女共同参画啓発紙発行事業 発行部数(部)				C
		3,000	3,000	5,000	
④	女性のための法律相談事業 年間延べ実施回数(回)				B
		100	81	100	
⑤	【新規】男女共同参画センター機能の研究事業 指標なし				C
		—	—	—	
⑥	女性・児童センター管理運営 年間利用者数(人)				A
		111,000	110,280	112,000	
⑦	【新規】男女共同参画計画周知・啓発事業 男女共同参画計画 概要版発行部数(部)				A
		—	—	76,400	
⑧	男女共同参画市民フォーラム事業 参加者数(人)				B
		100	73	100	
⑨	男女共同参画施策市民オンブードによる進捗状況調査 男女共同参画計画項目中、 着手されている項目数の割合(%)				A
		100.0	91.0	60.0	
⑩	男女共同参画出前事業 実施件数(件)				C
		1	1	1	
⑪					
⑫					
⑬					
⑭					
⑮					

※事務事業名に【新規】の表記がある事業はH18年度開始事業、【未実施】の表記がある事業はH19年度以降に開始予定の事業です。

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	133401		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。				
事務事業名	フェミニストカウンセリング事業		担当部局・課	市民部 男女共同参画課			
事業内容	女性が抱える心理的問題に、専門カウンセラーが相談に応じる。 1回1人50分のカウンセリング月22回実施 年間		事業開始(予定)年度				
			平成8年度				
			事業終了(予定)年度				
			—				
この事業の 上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現				
		項目	きめ細かな地域福祉の推進				
		施策	男女共同参画社会の形成				
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。						
	事業の目的	悩みを抱える女性のカウンセリングを実施することで、女性の悩みを軽減し、自らが持っている力を出せるように支援する。		予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)	(款) 民生費 (項) 社会福祉費 (事項) 男女共同参画推進施策費 (目) 男女共同参画推進施策費		
事業費等の概算	平成17年度(決算)		平成18年度(予算)				
	事業費	1,664千円	財源内訳				
			国・県補助金等	—			
			市 債	—			
			その他(使用料等)	—			
			一般財源(市税等)	1,664千円			
	投入人員	0.10人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)				
	人件費	857千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。				
	経費合計	2,521千円		経費合計	2,521千円		
活動指標	指標名(単位)	カウンセリング年間延べ実施回数（回）		計画と実績	年度 区分	H17年度	H18年度
	意味・算式等	年間延べ実施回数	計画値			264	264
			実績値			263	

評価結果	B
	上位施策に対する貢献度はやや高く、効率性を点検した上で継続する。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	133402		※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。				
事務事業名	女性団体、組織支援事業		担当部局・課	市民部 男女共同参画課			
事業内容	女性団体等への活動支援としての補助金支出および事務局業務		事業開始(予定)年度				
			—				
			事業終了(予定)年度				
			—				
この事業の 上位施策	これから5 年間のまち づくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現				
		項目	きめ細かな地域福祉の推進				
		施策	男女共同参画社会の形成				
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。						
事業の目的	地域のまちづくり、市民との連携による男女共同参画の推進、女性リーダーの養成やネットワークづくりを推進する。		予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)	(款) 民生費 (項) 社会福祉費 (事項) 男女共同参画推進施策費 (目) 男女共同参画推進施策費			
事業費等の概算	平成17年度(決算)		平成18年度(予算)				
	事業費	90千円	財源内訳				
			国・県補助金等	—			
			市 債	—			
			その他(使用料等)	—			
			一般財源(市税等)	90千円			
	投入人員	0.36人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)				
	人件費	3,084千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。				
経費合計	3,174千円		経費合計	2,660千円			
活動指標	指標名(単位)	会員数 (人)		計画と実績	年度	H17年度	H18年度
	意味・算式等	会員数	区分				
			計画値		150	150	
			実績値		140		

評価結果	C
	上位施策に対する貢献度はやや低く、より効率的・効果的な事業のあり方について検討が必要。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	133403		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。											
事務事業名	男女共同参画啓発紙発行事業							担当部局・課	市民部 男女共同参画課			評価結果 C 上位施策に対する貢献度はやや低く、より効率的・効果的な事業のあり方について検討が必要。		
事業内容	公募した市民の編集委員会によって男女共同参画啓発紙を編集・発行する。 3000部							事業開始(予定)年度						
								平成17年度						
								事業終了(予定)年度						
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現											
		項目	きめ細かな地域福祉の推進											
		施策	男女共同参画社会の形成											
		⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。												
	事業の目的	固定的な男女の役割分担にとらわれず、一人ひとりの人権を尊重する教育・啓発の推進を行うため、市民への広報・啓発活動を市民と共同して行う。							予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)		(款) 民生費 (項) 社会福祉費 (事項) 男女共同参画推進施策費 (目) 男女共同参画推進施策費			
事業費等の概算	平成17年度(決算)							平成18年度(予算)						
	事業費	88千円	財源内訳					事業費	142千円	財源内訳				
			国・県補助金等		—					国・県補助金等		—		
			市 債		—					市 債		—		
			その他(使用料等)		—					その他(使用料等)		—		
			一般財源(市税等)		88千円					一般財源(市税等)		142千円		
	投入人員	0.30人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)					投入人員	0.30人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)				
	人件費	2,570千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。					人件費	2,570千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。				
経費合計	2,658千円						経費合計	2,712千円						
活動指標	指標名(単位)	発行部数 (部)						計画と実績	年度 区分	H17年度		H18年度		
	意味・算式等	発行部数								計画値	3,000		5,000	
										実績値	3,000			

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	133404		
事務事業名	女性のための法律相談事業		担当部局・課 市民部 男女共同参画課
事業内容	パートナーからの暴力（DV）や離婚問題、セクシュアルハラスメントなどの悩みを抱えた女性が、問題を解決のために必要な法的対応を女性弁護士に相談する。 毎月 第2木曜日 午後13時～16時 一人30分 年間12回 72人		事業開始(予定)年度 平成14年度
			事業終了(予定)年度 —
この事業の 上位施策	これから5 年間のまち づくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現
		項目	きめ細かな地域福祉の推進
		施策	男女共同参画社会の形成
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。		
事業の目的	問題や悩みを抱えている女性が専門家に相談できる場を提供することで、問題の軽減が量れるように支援する。		予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。) (款) 民生費 (項) 社会福祉費 (事項) 男女共同参画推進施策費 (目) 男女共同参画推進施策費
事業費等の概算	平成17年度(決算)		平成18年度(予算)
	事業費	財源内訳	
		国・県補助金等	—
		市 債	—
		その他(使用料等)	—
		一般財源(市税等)	400千円
	投入人員	0.10人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)
	人件費	857千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。
	経費合計	1,257千円	
活動指標	指標名(単位)	年間延べ実施回数(回)	
	意味・算式等	年間延べ実施回数	
		計画と実績	年度 区分 H17年度 H18年度
			計画値 実績値 100 81

評価結果	B
	上位施策に対する貢献度はやや高く、効率性を点検した上で継続する。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	133405		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。				
事務事業名	【新規】男女共同参画センター機能の研究事業		担当部局・課	市民部 男女共同参画課			
事業内容	調査の委託、懇話会での協議など		事業開始(予定)年度		評価結果 C 上位施策に対する貢献度はやや低く、より効率的・効果的な事業のあり方について検討が必要。		
			平成18年度				
			事業終了(予定)年度				
			平成22年度				
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現				
		項目	きめ細かな地域福祉の推進				
		施策	男女共同参画社会の形成				
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。						
事業の目的	男女共同参画社会の形成のために、男女が集う拠点施設を整備し、男女共同参画行動計画推進の市民の意識作りや参画と協働のまちづくりのために市民の力を結集する		予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)	(款) — (項) — (事項) — (目) —			
事業費等の概算	平成17年度(決算)		平成18年度(予算)				
	平成18年度から開始された事業です。 本事業については、実績に基づく評価はできませんが、実施中の本事業の効果を現時点で想定した上で、施策目標の達成に向けた相対的な重要度や、貢献度の判断に基づいて評価を実施しています。		事業費	財源内訳			
				国・県補助金等	—		
				市 債	—		
				その他(使用料等)	—		
			一般財源(市税等)	—			
	投入人員	0.10人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)				
人件費	857千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。					
経費合計	857千円						
活動指標	指標名(単位)	指標なし		計画と実績	年度 区分	H17年度	H18年度
	意味・算式等	—			計画値	—	—
					実績値	—	

評価結果	C
	上位施策に対する貢献度はやや低く、より効率的・効果的な事業のあり方について検討が必要。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	133406		あり H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。				
事務事業名	女性・児童センター管理運営		担当部局・課	市民部 男女共同参画課			
事業内容	働く女性の家は、「伊丹市男女共同参画計画」に基づき、各種講座「の開催、同好会支援等 児童会館は、子ども達の遊びの支援、親子・児童のための各種講座開催 女性交流サロンは女性問題の視点を学び、一人ひとりができることを探り、グループ活動ができる拠点		事業開始(予定)年度				
			昭和45年度				
			事業終了(予定)年度				
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現				
		項目	きめ細かな地域福祉の推進				
		施策	男女共同参画社会の形成				
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。						
事業の目的	働く女性を始めすべての女性の福祉の増進、ならびに児童の健全な育成を図り、豊かな人間性を育てることを目的とする。		予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)	(款) 民生費 (項) 社会福祉費 (事項) 男女共同参画推進施策費 (目) 男女共同参画推進施策費			
事業費等の概算	平成17年度(決算)		平成18年度(予算)				
	事業費	32,056千円	財源内訳				
			国・県補助金等	—			
			市 債	—			
			その他(使用料等)	—			
			一般財源(市税等)	32,056千円			
	投入人員	6.00人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)				
	人件費	51,396千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。				
経費合計	83,452千円		経費合計	47,175千円			
活動指標	指標名(単位)	年間利用者数 (人)		計画と実績	年度	H17年度	H18年度
	意味・算式等	年間利用者数	区分		計画値	111,000	112,000
			実績値		110,280		

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	133407		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。				
事務事業名	【新規】男女共同参画計画周知・啓発事業		担当部局・課	市民部 男女共同参画課			
事業内容	男女共同参画計画概要版発行、配布		事業開始(予定)年度	評価結果 A 上位施策に対する貢献度は高く、現行のまま継続する。			
			平成18年度				
			事業終了(予定)年度				
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現				
		項目	きめ細かな地域福祉の推進				
		施策	男女共同参画社会の形成				
⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。							
事業の目的	伊丹市男女共同参画計画の市民への周知		予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)	(款) 民生費 (項) 社会福祉費 (事項) 男女共同参画推進施策費 (目) 男女共同参画推進施策費			
事業費等の概算	平成17年度(決算)		平成18年度(予算)				
	平成18年度から開始された事業です。 本事業については、実績に基づく評価はできませんが、実施中の本事業の効果を現時点で想定した上で、施策目標の達成に向けた相対的な重要度や、貢献度の判断に基づいて評価を実施しています。		事業費	831千円	財源内訳		
					国・県補助金等	—	
					市 債	—	
					その他(使用料等)	—	
					一般財源(市税等)	831千円	
			投入人員	1,20人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		
		人件費	10,279千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。			
		経費合計	11,110千円				
活動指標	指標名(単位)	男女共同参画計画概要版発行部数（部）		計画と実績	年度 区分	H17年度	H18年度
	意味・算式等	発行部数			計画値	—	76,400
					実績値	—	

評価結果	A
	上位施策に対する貢献度は高く、現行のまま継続する。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード

133408

あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業名

男女共同参画市民フォーラム事業

担当部局・課

市民部
男女共同参画課

事業内容

講演会、啓発イベント、オンブード報告等

事業開始(予定)年度

—

事業終了(予定)年度

平成27年度

この事業の上位施策

これから5年間のまちづくりプラン

視点

支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現

項目

きめ細かな地域福祉の推進

施策

男女共同参画社会の形成

⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。
行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。

事業の目的

男女共同参画計画の周知、男女共同参画施策の推進、男女共同参画に関する啓発

予算費目
(複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)

(款) 民生費
(項) 社会福祉費 (事項) 男女共同参画推進施策費
(目) 男女共同参画推進施策費

事業費等の概算

平成17年度(決算)

事業費

148千円

財源内訳

国・県補助金等

—

市 債

—

その他(使用料等)

—

一般財源(市税等)

148千円

投入人員

0.50人

⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。
=担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)

人件費

4,283千円

⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。

経費合計

4,431千円

平成18年度(予算)

事業費

154千円

財源内訳

国・県補助金等

—

市 債

—

その他(使用料等)

—

一般財源(市税等)

154千円

投入人員

0.50人

⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。
=担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)

人件費

4,283千円

⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。

経費合計

4,437千円

活動指標

指標名(単位)

参加者数(人)

計画と実績

年度

区分

H17年度

H18年度

計画値

100

100

実績値

73

評価結果

B

上位施策に対する貢献度はやや高く、効率性を点検した上で継続する。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード		133409		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。					
事務事業名		男女共同参画施策市民オンブードによる進捗状況調査		担当部局・課	市民部 男女共同参画課				
事業内容		伊丹市男女共同参画計画項目進捗状況調査及び報告（決算・進捗状況照会、回答集計、ヒアリング、独自調査、報告書作成、本部会議等報告、市民フォーラム等での報告、市民と意見交換 等）			事業開始(予定)年度				
					—				
					事業終了(予定)年度 昭和27年度				
この事業の 上位施策		これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現					
			項目	きめ細かな地域福祉の推進					
			施策	男女共同参画社会の形成					
		⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年（H18～22年度）に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。							
事業の目的		伊丹市男女共同参画計画の実効性の確保、男女共同参画参画施策の推進、男女共同参画に関する啓発			予算費目 （複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。）	(款) 民生費 (項) 社会福祉費 (事項) 男女共同参画推進施策費 (目) 男女共同参画推進施策費			
事業費等の概算		平成17年度(決算)			平成18年度(予算)				
		事業費	1,534千円	財源内訳		事業費	1,580千円	財源内訳	
				国・県補助金等	—			国・県補助金等	—
				市 債	—			市 債	—
				その他(使用料等)	—			その他(使用料等)	—
				一般財源(市税等)	1,534千円			一般財源(市税等)	1,580千円
		投入人員	0.60人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		投入人員	0.60人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)	
人件費	5,140千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		人件費	5,140千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。			
経費合計	6,674千円			経費合計	6,720千円				
活動指標		指標名(単位)	男女共同参画計画項目中、着手されている項目数の割合（％）			計画と実績	年度 区分	H17年度	H18年度
		意味・算式等	着手済み項目数／計画項目数（H17は旧計画、H18以降は新計画上の数値）				計画値	100	60
							実績値	91	

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	133410			あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。				
事務事業名	男女共同参画出前事業			担当部局・課	市民部 男女共同参画課			
事業内容	市内企業や市民団体等を対象にジェンダーについての問題やセクシュアルハラスメント等に関する学習会を行う。			事業開始(予定)年度				
				平成15年度				
				事業終了(予定)年度				
				—				
この事業の 上位施策	これから5 年間のまち づくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現					
		項目	きめ細かな地域福祉の推進					
		施策	男女共同参画社会の形成					
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。							
事業の目的	出前講座を通して地域活動における男女共同参画推進に関する情報提供や啓発を行う。			予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)		(款) 民生費 (項) 社会福祉費 (事項) 男女共同参画推進施策費 (目) 男女共同参画推進施策費		
事業費等の概算	平成17年度(決算)			平成18年度(予算)				
	事業費	33千円	財源内訳		事業費	33千円	財源内訳	
			国・県補助金等	—			国・県補助金等	—
			市 債	—			市 債	—
			その他(使用料等)	—			その他(使用料等)	—
			一般財源(市税等)	33千円			一般財源(市税等)	33千円
	投入人員	0.10人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		投入人員	0.10人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)	
	人件費	857千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		人件費	857千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。	
	経費合計	890千円		経費合計	890千円			
	活動指標	指標名(単位)	実施件数(件)			計画と実績	年度 区分	H17年度
意味・算式等		年間の実施件数			計画値		1	1
					実績値		1	

評価結果	C
	上位施策に対する貢献度はやや低く、より効率的・効果的な事業のあり方について検討が必要。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。